

- 運営委員会 運営委員長: 渡辺好章(同志社大)
- 運営委員会 幹事会 上羽貞行(東工大), 梅村晋一郎(京大), 金井 浩(東北大), 榎淳一(東北大), 黒澤 実(東工大), 香田 忍(名古屋大), 小島誠治(筑波大), 斎藤繁実(東海大), 崔 博坤(明治大), 酒井啓司(東大), 中村健太郎(東工大), 蜂屋弘之(千葉大), 山田 晃(農工大), 山中一司(東北大)
- 実行委員会 実行委員長: 香田 忍(名古屋大)  
金井 浩(東北大), 黒澤 実(東工大), 小島義弘(名大), 斎藤繁実(東海大), 辻内 亨(産総研), 蜂屋弘之(千葉大), 松岡辰郎(名大), 松川真美(同志社大)
- 論文委員会 論文委員長: 斎藤 繁実(東海大) 論文副委員長: 水谷孝一(筑波大)  
秋山いづき(湘南工科大), 飯田康夫(産総研), 梅村晋一郎(京大), 大野正弘(千葉工大), オリバ・ライト(北大), 鎌倉友男(電通大), 鎌田弘志(沖電気), 工藤すばる(石巻専修大), 黒澤 実(東工大), 近藤 淳(静岡大), 酒井啓司(東大), 杉本信正(阪大), 竹内正男(玉川大), 中村健太郎(東工大), 中村敏明(防衛大), 橋本研也(千葉大), 蜂屋弘之(千葉大), 原田 明(九大), 平尾雅彦(阪大), 広瀬精二(山形大), 松岡辰郎(名大), 松川真美(同志社大), 守本 純(防衛大), 山田 晃(農工大), 山田 颯(東北学院大), 山中一司(東北大, JJAP編集委員), 渡部泰明(首都大)
- 運営委員  
阿部 洋(トーキン), 飯野博司(古野電気), 伊藤洋一(日大), 井上直樹(愛媛大), 井上 浩(秋田大), 井上武志(日本電気), 上田光宏(PMSL), 宇野武彦(神奈川工大), 遠藤行(神奈川大), 小澤あつみ(日女大), 大平悦三(武蔵工大), 岡崎正喜(日本電波工業), 片倉景義(日立), 門田道雄(村田製作所), 川島捷宏(東京工科大), 菊池恒男(産総研), 菊池年晃(海洋研究開発機構), 金茂俊(釜慶大), 小池義和(芝浦工大), 小柴正則(北大), 小塚晃透(産総研), 小山清人(山形大), 齊藤史郎(東芝), 齊藤晋聖(北大), 佐々木博(東芝), 澤田嗣郎(農工大), 椎名 毅(筑波大), 塩川祥子(SAW&SPR-Tech), 塩寄 忠(奈良先端大), 実森彰郎(鳥取環境大), 菅原澄夫(石巻専修大), 須崎琢而(堀場製作所), 竹中 正(東理大), 高木堅志郎(東大), 高野剛浩(東北工大), 高田啓二(日立), 高橋貞行(NEC), 田中 肇(東大), 田中元直(結核予防会), 田村安孝(山形大), 千原国宏(奈良先端大), 長 康雄(東北大), 辻野次郎丸(神奈川大), 土屋利雄(海洋科学技術セ), 土井 新(キンセキ), 得永嘉昭(金工大), 戸田耕司(防衛大), 富川義朗(山形大), 豊田太郎(電通大), 永井啓之亮(筑波大), 中川恭彦(山梨大), 中島春彦(農工大), 中田穂積(大真空), 中村信良(東北大), 野村 徹(芝浦工大), 野村浩康(東京電機大), 河 康烈(釜慶大), 橋本雅彦(松下電器), 橋本芳樹(カイジョー), 畑 朋延(日本ナノ膜), 羽田野甫(東理大), 林 茂雄(電通大), 藤島 啓(村田製作所), 古川猛夫(東理大), 寶川幸司(神奈川工科大), 星宮 務(東北学院大), 前田泰昭(JICA), 松中敏行(アロカ), 美宅成樹(名大), 美谷周二朗(東大), 三留秀人(産総研), 南出章幸(金沢工専), 三原 毅(東北大), 宮崎保光(愛工科大), 宮下豊勝(龍谷大), 三好正人(NTT), 茂木良平(秋田高専), 森泉豊栄(東工大), 安井久一(産総研), 山口正恆(千葉大), 山越芳樹(群馬大), 山下喜就(TDK), 山田 純(日立), 山之内和彦(東北工大), 山本 弘(日立建機), 山本泰司(NRS), 吉田哲男(スミダ電機), 若月 昇(石巻専修大)
- 顧問 卜部泰正, 大谷隆彦, 尾上守夫, 岡野光治, 川端 昭, 柴山乾夫, 清水康敬, 中鉢憲賢, 中村 昭, 根岸勝雄, 森 榮司



シンポジウム開催期間 11月15日(水)~17日(金)

- 講演申込締切 8月4日(金)
- 論文集原稿(A4×2頁)締切 8月25日(金)
- 講演者参加申込・支払締切 10月6日(金)
- 参加費割引申込締切 11月2日(木)
- JJAP論文原稿締切 11月24日(金)

シンポジウム会場

名古屋国際会議場  
一号館四階会議室  
(名古屋市熱田区熱田西町1-1)  
名古屋市営地下鉄名城線「西高蔵」駅または名港線「日比野」駅下車徒歩5分  
(東海道新幹線「名古屋」から約20分)



The 27<sup>th</sup> Symposium on Ultrasonic Electronics

# USE2006

November 15-17, 2006  
Nagoya  
Nagoya Congress Center

期間:平成18年11月15日(水)~17日(金)  
会場:名古屋国際会議場  
一号館四階会議室/名古屋  
<http://www.use-jp.org/index-j.html>

## 第27回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

主催: 超音波シンポジウム運営委員会  
共催: 応用物理学会

協賛: 映像情報メディア学会/海洋音響学会/超音波工業会/電気学会/電子情報通信学会/  
日本音響学会/日本化学会/日本学術振興会弾性波素子技術第150委員会/日本機械学会/日本金属学会  
/日本生体医用工学会/日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/  
日本分光学会/日本分析化学会/日本分析機械工業会/IEEE UFPC Society Japan Chapter



## ごあいさつ

本シンポジウムは、超音波に関する各分野の基礎から応用に携わる研究者の学術交流の場を提供することを目的に、1980年12月に第1回が開催されました。以来四半世紀にわたり毎年超音波に関する最新の研究発表と討論が行われてまいりました。その間、応用物理学会英文誌 JJAP の特集号としても巻を重ねました。一昨年第25回を迎えたのを機に、英語セッションを設け、また、今回、ポスターセッションの英語化をはかり、国際化を進めるとともに、論文賞の創設や既発行講演論文集の Online 化を図っております。今年、熱田の杜のそばの名古屋国際会議場を会場に選び、シンポジウムを開催します。多数の皆様のご参加を心からお待ちしております。

第27回超音波シンポジウム運営委員長 渡辺好章

## 超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、*Japanese Journal of Applied Physics* に論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award)を贈呈します。

## 超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は概要講演登壇者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2007年)の3月31日で満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award)を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申し込み時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウム(USE2007)の席上で行います。



## 論文募集分野

1. 超音波物性・材料, フォノン物理
2. 測定技術・映像法・非破壊検査
3. 光-超音波エレクトロニクス
4. バルク波デバイス
5. 弾性表面波デバイス
6. ソノケミストリー
7. 医用超音波
8. 強力超音波
9. 水中音響
10. その他



## USE ホームページ

<http://www.use-jp.org/index-j.html>

■講演申込(8月4日(金)まで) 原則として USE ホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータを用いて論文委員会において採否決定を行います。「英語セッション」は英語で発表、討論を行うセッションです(講演論文原稿も英語)。海外から参加する外国人だけではなく、日本人や日本の大学に在学する留学生の積極的な参加をお待ちしています。本年度は、ポスターセッションは英語にて行います。また、**超音波シンポジウム奨励賞の有資格者は登録を忘れずに行ってください。**

■講演論文集の原稿(8月25日(金)まで) 原則として pdf 形式のものをホームページからご提出下さい。執筆要綱、テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集は USE ホームページから閲覧することが出来ます。採録原稿は、シンポジウム終了後おおむね半年を経過した後に同様にホームページに公開します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。インターネットを利用できない方など不明点はお尋ね下さい。

■講演採択の決定 論文委員会で審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月下旬ころの予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演論文集別刷り(10月6日(金)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込・支払を行ってください。その際、講演論文集別刷り(1件5,000円)も必ず申込・支払を行ってください。

■JJAP 論文の原稿(11月24日(金)まで) 講演採択者は JJAP(*Japanese Journal of Applied Physics*)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿要領はシンポジウム講演の採択通知と一緒にお知らせします。



## USE 懇親会

11月16日(木) 夕刻  
名古屋国際会議場

7F展望レストラン「パステル」

会費: 一般 6,000円  
学生 4,000円



## 問合せ先

実行委員長 香田 忍  
名古屋大学工学研究科  
物質制御工学専攻  
〒464-8603 愛知県名古屋市

千種区不老町

TEL 052-789-3275

FAX 052-789-3273

E-mail: [secretary@use-jp.org](mailto:secretary@use-jp.org)

■参加申込 参加者一人ずつ USE ホームページからお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。懇親会費、別刷り代金も支払えます。専用の郵便振替用紙を用いて**参加者一人ずつ**参加費等を送金してください。従来と異なり、郵便振替用紙が参加申込とはなりません。**郵便振替の場合も必ずホームページから1名ずつ参加申し込みをして下さい。**所属機関から送金される場合は、振替用紙に**参加者ご本人の氏名**を明記して下さい。銀行送金を希望される方はお知らせ下さい。また、ホームページからクレジットカードを利用した支払いもできるようにする予定です。

郵便振替口座番号:00810-2-94173 口座名義: 超音波シンポジウム  
ホームページからの参加申し込みは会期前日まで可能ですので、できる限り申込を済ませてから会場にお越し下さい。また、11月2日(木)までに**参加費を送金またはカード決済される場合は割引価格が適用されます**ので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。なお、会期当日の支払いは現金でお願い致します。

■参加費 11月2日までの割引価格: 15,000円(一般) 5,000円(学生)  
それ以降、当日までの価格: 17,000円(一般) 6,000円(学生)

**講演者につきましては、10月6日までに支払いいただけない場合は、講演を原則として取り消させていただきます。**参加費には講演論文集と JJAP 特集号1冊(刊行後送付)の代金が含まれます。当日欠席の場合は後日、論文集を郵送します。なお、JJAP を定期購読されている一般の方は、事前申込み13,000円、当日申込み15,000円となります。今回参加できない方も、参加申し込みをされて講演論文集と JJAP 特集号の継続購読をすることをお勧めします。また、今回参加申込みをされた方には来年のシンポジウム案内を差し上げる予定です。